

第3回中岡崎駅バリアフリー基本構想策定協議会 議事録

1 日 時：令和6年12月27日（金）9時00分～10時20分

2 場 所：岡崎市福祉会館2階 福祉201号室

3 出席者及び欠席者

NO	氏 名	所 属	備 考
①	松 本 幸 正	名城大学 教授	
②	松 尾 幸 二 郎	豊橋技術科学大学 准教授	
③	高 井 勇 輔	名古屋鉄道(株)	
④	寺 澤 秀 樹	愛知環状鉄道(株)	
⑤	後 藤 泰 之	名鉄バス(株)	
⑥	浅 岡 林 平	愛知県タクシー協会岡崎支部	
⑦	鷲 山 幸 男	岡崎市老人クラブ連合会	途中出席
⑧	加 藤 歩	岡崎市障がい者福祉団体連合会	
⑨	山 本 一 途	中部運輸局バリアフリー推進課	
⑩	山 田 麻 衣 子	愛知県交通対策課	
⑪	能 登 谷 敦	愛知県西三河建設事務所 維持管理課	
⑫	阿 部 田 洋	岡崎市福祉部 部長	
⑬	神 谷 秀 樹	岡崎市土木建設部 部長	
⑭	松 澤 耕	岡崎市都市政策部 部長	
⑮	小 田 英 宜	岡崎市教育監	

欠席者：岡崎市総代会連絡協議会、愛知県岡崎警察署、岡崎市総合政策部長

4 説明会等のため出席した事務局職員の職氏名

氏名	所属	出欠	備考
木下 政樹	総合政策部 地域創生課 課長	出席	事務局
竹内 雅晴	総合政策部 地域創生課 主任主査	出席	事務局
安藤 星哉	総合政策部 地域創生課 主事	出席	事務局
澤田 和樹	総合政策部 地域創生課 主事	出席	事務局
安藤 寛人	総合政策部 地域創生課 事務員	出席	事務局

他、業務委託先（株式会社 間瀬コンサルタント）より 3 名出席

5 報告事項

(1) 岡崎市障がい者自立支援協議会での意見への対応方針

(2) 第2回中岡崎駅バリアフリー基本構想策定協議会での意見への対応方針

資料1、2に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員	<p>東岡崎駅や JR 岡崎駅等、全ての鉄道駅でストレッチャーのエレベーター動線を考慮していただきたいと思っておりますが、私としては初めてこのような会議に携わるため、これまで発言の場がありませんでした。そのため、これまでの協議会で何度もストレッチャーに関する提案や発言をしてきました。</p> <p>先ほどの「1. 岡崎市障がい者自立支援協議会での意見への対応方針」で、“日常的に何を不便に感じているかをより多くの人に知ってもらうためにも、もっと障がい者の方も町に出るべき”という当事者からの御意見もありましたが、私の家庭の場合、出られないというのが現実です。どこへ行くにしても電車に乗れないため、自家用車がほとんどになってしまいます。</p> <p>誰もが外に出られる社会が良いと思っておりますので、“なぜ鉄道駅等で障がいを持つ方が少ないか”を考えていただきたいです。</p>
委員	<p>貴重な御意見ありがとうございます。</p> <p>おっしゃる通りで、より多くの人に知ってもらうための活動は重要かと思っております。そのためにも、本基本構想ではコラムの中でストレッチャー対応のエレベーターについて記載されています。できることからやっていくことが重要です。</p>
事務局	<p>今、会長からもあったようにできることできないことというのがございますので、まずはコラムで御紹介させていただいています。</p> <p>また、今回特徴的なのは心のバリアフリーというソフト事業、啓発事業等があることです。障がいをお持ちの方の様々な状況やバリアフリーの現状等を、特に若い世代や小中学生のお子様等に啓発する機会を積極的に設けていきたいと思っております。</p>
委員	<p>バリアフリースイールの設置は、中岡崎駅構内と西口の2つですか？</p>
事務局	<p>既設の西口トイレはバリアフリー対応になっており、中岡崎駅構内に新たなバリアフリースイールが設置される予定です。</p>
委員	<p>先日、東岡崎駅東口の新しくなったトイレを初めて利用したのですが、洋式トイレは便座暖房がなく、驚いてしまいました。中岡崎駅の方は便座暖房等の設置は検討していますか？</p>
委員	<p>現在検討中ではありますが、バリアフリースイールに関しては便座暖房付きのものにする計画です。</p>
委員	<p>名古屋鉄道様はどのように考えていますでしょうか？</p>
委員	<p>各駅古いトイレもありますので、順次適切な設備への更新について、優先順位をつけながら取り組んでいきたいと思っております。</p>

	本件については貴重な御意見として承りますので、社内の方にも共有させていただきたいと思えます。
委員	我が国の鉄道駅トイレはあまり環境が良くありません。そんな中でトイレに関していち早く素晴らしいものを作り上げたのが高速道路（NEXCO）です。その次は新幹線や新幹線駅が挙げられます。鉄道駅に関しても、是非各事業者さんに努力いただきたいと思っています。

6 協議事項

(1) 中岡崎駅・岡崎公園前駅周辺地区バリアフリー基本構想（案）について

(2) 今後のスケジュール

資料3、4に基づき説明

<以下、各委員の意見等>

委員	本基本構想は、市長が記者会見で述べていた総合駅とは関係はありますか？
事務局	総合駅は長期的な構想であり、愛知環状鉄道の複線化や高速化が主になるため、直接的な関連性は低いですが、その大きな構想の枠組みのひとつと捉えることはできるとしています。
委員	“岡崎公園”を“岡崎城公園”に名称変更しましたが、岡崎公園前駅の名称は変更ありませんか？
事務局	岡崎公園前駅の名称は変更ありません。
委員	心のバリアフリーに関する特定事業についてです。“小中学校と連携”というのは継続的に今もやられているかと思いますが、これは小中学生だけが対象というわけではなくて、どの世代であっても対象となるような事業でしょうか？
事務局	地域創生課ではバスの乗り方教室といった出前講座を市内の小中学校で実施していますので、まずは既存の場で活動を実施していきたいと思っています。また、福祉部門としては障がい福祉課がありますので、連携して幅広く啓発していきたいと考えています。
委員	幅広い世代に広めていくことが重要だと思いますが、啓発活動に関する記載はどこかにありますか？
事務局	市民全般に向けた啓発というものの記載は特に無いため、検討させていただきたいと思えます。
委員	本基本構想に関する啓発活動はどのように取り組みますか？
事務局	まずは、職員の理解をしっかりと深めていくところが大事だと思っています。その後、市民に向けた啓発活動を実施していくことが理想的な手順だと思っています。
委員	職員の方にもまずしっかりと認識していただくという事は非常に重要だと思えますので、それに関する内容もどこかで落とし込んでもらうと良い取

	り組みになるかと思います。
委員	本会議において、女性委員が少ないと感じています。
事務局	今後は積極的な女性参加を促していきたいと思います。
委員	当事者の要望として一般的に多いのは、「耳マーク・筆談・音声案内」等が挙げられますが、これらの対策は実施しますか？
事務局	資料3の37ページに“情報案内-案内サインの設置”と記載をしています。これは、詳細な設置設備に関しては、その施設において必要なものを設置していただけるようにこのような記載としています。
委員	具体的な取り組み内容は各事業者に委ねるということでしょうか？
事務局	意見交換を実施して、最終的には各事業者に委ねる形となります。各事業者には基本構想策定後に、特定事業計画を作成してもらいます。
委員	本構想として、「耳マーク・筆談・音声案内」が求められていることを記載していますか？
事務局	例えばですが、資料3の4ページでは第5次岡崎市障害者基本計画の抜粋を記載しています。この中で、誰もが生活に必要な情報を適切に取得・活用できるようなデジタル技術の活用や、手話言語・障がい者のコミュニケーションに関する条例の周知の中で、点字翻訳サービス等様々な特性に配慮した支援を取り込むという記載をしています。 ですが、具体的な声を記載しているページは無いため、検討させていただきます。
委員	例えば、19ページにおいて“案内が少ない”とありますがさらに踏み込んで「点字がない、音声案内がない」という記載をしてもいいかもしれません。 また、美合駅のデジタル技術を活用した案内がされている事例をコラム化するのもひとつの手段だと思いました。
事務局	より具体的に記載できる箇所に関しては、修正していきたいと思います。
委員	現在、岡崎公園前駅はピクトグラムや音声案内は整備されていますか？
委員	ある程度の対応はされていると思います。 先ほど挙げりました美合駅でのデジタル技術の導入に関しましては、名鉄全駅で順次整備を実施していきます。そういった形で利便性をさらに高めていく取り組みを進めています。
委員	ありがとうございます。 ちなみにですが、音声案内は何が求められているのでしょうか？
事務局	視覚障がい者は電光掲示板で示されていても分からない、一方で音声案内だけで対応しようとするとう聴覚障がい者にとっては不便となります。このように何かひとつ対策をするだけでは全てが解決するわけではないということを理解してほしいとの声がありました。
委員	私もその通りだと思いました。
委員	市外の方に「東岡崎駅のエレベーターはどこにあるの？」と聞かれたこ

	とがあります。私は慣れているためすぐに分かりますが、駅構内の案内が少ないため、たしかに分かりにくいと思いました。人に尋ねることなく目的の場所に行けるような案内があると良いと思います。
委員	普段使い慣れている人とそうでない人では全く異なる感覚であるため、各事業者さんには情報案内に関してより力を入れてほしいと思います。
委員	音声案内に関して、進行方向や向いている方向によって左右が異なるため、全ての利用者に当てはまるような音声案内は困難のように思えます。
委員	たしかに表現が難しいと思いました。もし音声案内をしていただける場合には、そういったところも御配慮ください。
委員	音声案内の向きってとても難しいと思うのですが、道路交差点では、一方方向は「ピヨピヨ」、もう一方は「カッコウ」と別の鳴き声になっています。その鳴り方も、片方は「ピヨ」、もう片方は「ピヨピヨ」と、その音の違いでどちらに進んでいるか分かるといった工夫がかなり前からされています。 おそらく駅の案内もそのような工夫はあると思いますので、事例を調べて参考にするのも良いかと思います。
委員	ありがとうございます。 そういった色々な工夫がすでにされているということですので、ぜひ参考としてコラムの中で紹介していただくと良いと思います。
事務局	ありがとうございます。コラムとしての記載を検討させていただきます。 時間的制約があるため、本日の資料3の内容でパブリックコメントを行わせていただきたいと思います。本日出た意見の中で、記載内容の修正が必要なものは、パブリックコメントの意見と合わせて修正させていただきます。
委員	ただいま事務局から提案されたことについて、承諾いただけたということで、よろしく願いいたします。 また、構想（案）に関する意見書が席上に配布されていますので、パブリックコメントの期限までに事務局へ提出をお願いします。
事務局	引き続きよろしく願いいたします。

以上